

広報特別委員会調査報告書

令和元年 12 月
広報特別委員会

1. 設置の経過

・ 設置及び委員

広報特別委員会は、平成30年2月22日の本会議において設置され、次の8名が選出されました。

面村 好高	木村 裕	吉田 尋子
平野 清久	谷尻 昌史	八木 信樹
麻田 育良	平田 聖治	—

また、同日開催された委員会において、委員長に面村 好高委員、副委員長に平野 清久委員を選出しました。

2. 調査の経過と結果報告

①議会広報紙 市議会だより「なんたん」第49号から第52号の編集・発行を行いました。

議会広報紙 市議会だより「かけはし」第53号から第55号の編集・発行を行いました。

②議会広報紙の編集および広聴活動についての調査を行いました。

平成30年10月30日 和歌山県橋本市

平成30年10月31日 和歌山県紀の川市

令和元年11月 6日 愛知県幸田町

令和元年11月 7日 愛知県豊田市

3. 今後の課題と方向性

市民の方に議会の取り組みを知っていただくため、情報発信としてのツールとして、インターネット、携帯電話及びケーブルテレビを活用した生中継を配信している。また、議会だよりでは、議会活動だけではなく、市民の声を直接聴く機会を増やせるような取り組みを行っています。

今後もこれらの活動にあわせて、効果的な掲載情報の見直しを行いながら、引き続き市民によりわかりやすい議会だよりを発行するとともに、さらなる議会広報の充実に努めていく必要があると考えます。

また、市民への情報発信として、議会広報紙の発行ならびに広聴等の活動は重要であり、効率的・効果的な情報公開を促進するための新たな方法を検討していくことが課題であると思われまます。

4. 委員会開催状況及び協議内容

①第4期議員による委員会

発行号数	開催日時	内 容	発行日
49	平成30年 3月 5日	編集日程及び 作業分担協議	平成30年 5月11日
	平成30年 4月 9日 4月17日 4月20日 4月23日	レイアウト・校正	
50	平成30年 6月11日	編集日程及び 作業分担協議	平成30年 7月27日
	平成30年 6月25日 7月 3日 7月 9日 7月11日	レイアウト・校正	
51	平成30年 9月10日	編集日程及び 作業分担協議	平成30年11月22日
	平成30年10月23日 11月 5日 11月 8日 11月12日	レイアウト・校正	
52	平成30年12月 6日	編集日程及び 作業分担協議	平成31年 1月25日
	平成30年12月27日 平成31年 1月 8日 1月10日 1月15日	レイアウト・校正	
53	平成31年 3月 5日	編集日程及び 作業分担協議	令和元年 5月10日
	平成31年 4月 8日 平成31年 4月16日 平成31年 4月18日 平成31年 4月19日	レイアウト・校正	

発行 号数	開催日時	内 容	発行日
54	令和元年 6月 7日	編集日程及び 作業分担協議	令和元年 7月26日
	令和元年 6月25日 7月 3日 7月 8日 7月11日	レイアウト・校正	
	令和元年 9月 6日	編集日程及び 作業分担協議	
	令和元年10月15日 10月21日 10月24日 10月25日	レイアウト・校正	
55	令和元年12月 5日	編集日程及び 作業分担協議	令和元年11月 8日
56	令和元年12月 5日	編集日程及び 作業分担協議	令和2年1月24日 (予定)

②第4期議員による検討会議及び研修

開催日時	内 容	備 考
平成30年12月 6日	広報紙写真の撮影方法について	北村写真研究所より講師を招いて研修会を開催
平成31年 2月22日	市議会だよりタイトルの検討について	市議会だより「かけはし」第53号よりタイトル変更
令和元年 8月27日	市町村議会広報研修会に参加	平成31年3月定例会関係 広報紙対象

5. まとめ

第4期議員の当委員会は平成30年2月22日の本会議において、議会広報紙 市議会だより「なんたん」の発行と諸情報に関する調査を目的に設置されました。

平成30年2月22日に8名の委員構成で発足し、市民の皆さんに読みやすく、わかりやすく、正確な議会情報の伝達を念頭におきながら、第49号から第55号までの発行を行ってきました。

こうした中、議会と市民の皆さんを結ぶ架け橋になるようにという願いのもと、議会だよりの名前を「なんたん」から「かけはし」に変更したことを始め、紙面のレイ

アウトの工夫や見出しの付け方、効果的な写真の使用についてなどを継続的に研究してきました。

そして、議会の中の報告だけでなく、地域で頑張る人たちに着眼し、直接インタビューをさせていただき、その取り組みの様子を紹介させていただいています。

今後は、議会をより身近に感じ、一人でも多くの方に議会だよりを読んでもらうような広報紙の発行をめざすとともに、市民の皆さんの意見を汲み取れるような広報・広聴活動を進めていくことが重要と考えます。